

📷 1枚の写真



下町の栄養源

埼玉県、千葉県と  
接する葛飾区。  
かつて葛飾は  
東京の食卓を支えた  
農村地帯でした。  
時代と共に  
農地は宅地や工場に  
移り変わっていましたが、  
現在でも区内では  
コマツナなどの  
下町の栄養源といわれる  
葛飾の野菜が  
つくられています。

DATA 葛飾元気野菜直売所

葛飾産の新鮮な野菜が一堂に集まるのが「葛飾元気野菜直売所」です。毎朝、採れたての新鮮な野菜が出荷されます。価格はスーパーの半額程度で、とてもお買い得！

この直売所のユニークなところは、消費者に生産者の顔が見えること。野菜にはそれぞれ生産者のナンバーがつけられています。より安全で、よりおいしい野菜にこだわってつくった元気野菜。朝10時の開店前から行列ができるほどの人気ぶり。わずか1時間半ほどでほとんど売り切れてしまうそうです。

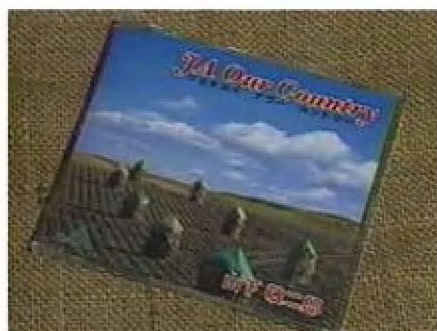
「やっぱりおいしいですよ。新鮮だし。うちの女房は近所のスーパーと全然味が違うって言う。浅草から買いにきます」と、お客さん。

営業時間	10:00-16:00
定休日	木日祝 休
住所	葛飾区柴又6-6-2
TEL	03-5612-7326

葛飾元気野菜直売所のwebサイト



DATA 農業への応援歌



農業の未来を誰よりも熱く語るのが、JA東京スマイル専務理事の松丸重蔵さんです。長年、日本の農業を葛飾から見つめて来た松丸さんは、日本の農家を元気つける応援歌を作りました。その名も「JA Our Country」。松丸さんが作曲し、ロカビリー歌手の山下敬二郎さんがボーカルを担当。これからの農業を担う若い世代へのメッセージを歌に込めました。

Youthful Farmer 若者たちは  
ライスに 野菜に そして花づくり  
安全と 環境を 配慮して 21世紀  
を大きく拓くよ

Live Live together  
JA Our Country

「農業は日本の原点だと思います。年々農家の戸数は如実に減っているけれど、日本の農業を絶やさないという思いから曲を作りました」と松丸さん。